



広報



市の花 つつじ



FUSSA

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

平成19年(2007年)

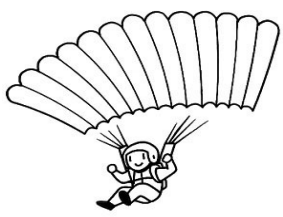
5月1日 No. 734

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

今号の主な記事

- 2面 春の全国交通安全運動
- 3面 市議会議員選挙結果
- 5面 5月12日は民生委員・児童委員の日です
- 6面 ぶっさ輝きフェスティバル
- 7面 市民文化祭参加団体募集
- 8面 平成19年度緑化事業計画

夏休み子どもスポーツ体験塾



福生を飛び出し白馬村にGO!



白馬村に着いたら、リバーアドベンチャー&ラフティング、翌日はパラグライダー体験、カレー作り、最終日は、1998年冬季オリンピックで感動を呼んだ白馬のスキージャンプ台の見学、ネイチャートレッキングなど他にも盛りだくさんのプログラムがみんなを待っています。わくわく、どきどきするような体験してみよう!

主催 福生市教育委員会 問合せ スポーツ振興課 ☎552・5511

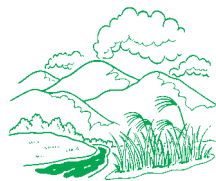
事業目標

生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しめるよう、夢と希望を育む「機会」づくり、スポーツに親しめる「機会」づくりを提供します。

2泊3日の共同生活と体験プログラムによる交流、体験を通して、社会性、自立性を育み、心豊かな子どもを育てるために、さまざまな人々や自然、社会、文化と関わり、一人ひとりの子どもたちにその役割と協調性を身につけることを目指します。

スポーツやレクリエーションを通じて、達成感、爽快感を感じ、自己の責任感、自立心、仁徳や社会のルールを身につける場を提供し、子どものリーダーの育成と、団結力及び自己の遂行力を養成することを目的とします。

日時 8月8日から10日まで2泊3日
対象 市内在住の小学5・6年生及び中学1年生 定員 60人
費用 9,000円(日程表のスポーツ体験費用、宿泊、交通費、食事、保険等)
申込み 広報ぶっさ5月15日号に募集の詳細を掲載します。



子ども体験塾日程表(案)

日	時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8月8日 (水)	集合・開校式	出発(移動)				キャンプネーム作り	昼食	スポーツ体験 ①リバーアドベンチャー→ ②ラフティング			バーベキュー(夕食)	片付け	自然観察 ①星空観察→ ②蛍観賞	就寝			
8月9日 (木)	起床 ラジオ体操	朝食	移動	スポーツ体験 (パラグライダー)		スポーツ体験 (魚つかみ)	昼食	(河川清掃) 勤労体験	物作り体験 とんぼ玉	農業体験 夏野菜収穫→ 収穫物で夕食作り (カレーライス作り)		夕食	片付け	キャンプファイヤー &肝試し	就寝		
8月10日 (金)	起床 ラジオ体操	朝食	整理	部屋掃除と荷物	自転車移動	見学	白馬ジャンプ台	スポーツ体験 (ネイチャーウォーキング) 五龍トレッキング (昼食:山でお弁当)		帰路(移動)			閉校式・解散				

引率者を公募します

条件

- ① 市内在住、20歳以上の方で、心身ともに健康なスポーツ愛好者
- ② 平日3日間の事業全てに参加できる方
- ③ 事前、事後の研修会への参加(延べ3日間程度、自然体験活動研修等)が可能な方
- ④ ジュニアスポーツの指導に関心のある方
- ⑤ 青少年健全育成に関心のある方
- ⑥ 事業終了後、地域活動の積極的参加・協力が可能な方

選考 書類選考と面接及び簡単な体力テストを行います。
※詳しくは、広報ぶっさ5月15日号に掲載します。

きんもくせい

福生市長 野澤 久人



水辺の楽校開校式

新庁舎の4階から多摩川の堤防沿いの桜並木がよく見え、ピンク色から新緑に衣を替えました。

過日は「水辺の楽校」の正式な開校式(すでに前から活動は始まっています)があり、「川の志民館」から多摩川中央公園、河原にかけてきれいに整備されました。これで危険がなく水辺まで行けます。

福生地域の多摩川は下水道の整備と水量の確保でよみがえり、大勢のボランティアの皆さんに守られて、子どもたちの感性を豊かに育んでくれます。

私たち人間は、他の動植物を食べて生きています。他の生物のおかげで生きさせてもらっています。空気も植物の光合成の力で浄化され、私たちが生きて行けます。

福生は早い時期に下水道を完備しましたが、いまだに汲み取り槽を使っている方がいます。このため、この処理に必要な経費がかかっています。

下水の完成は単に利便性のためだけでなく、良い環境の維持のために必要です。その管理のためには、税や使用料がかかります。

このような形で私たちの生活はいたる所で繋がっており、協力なしでは生きられません。